

ヤミ屋の オヤジ。

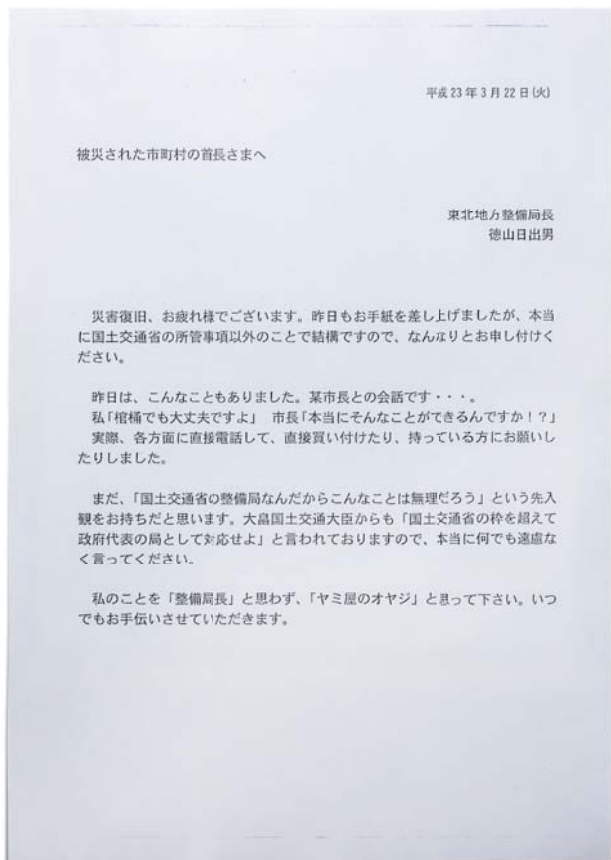
支えに。

所管にとらわれない、垣根を越えた物資調達が行われた。

被災された市町村長あてに東北地方整備局長からの一通の手紙が、派遣されていたリエゾン(災害対策現地情報連絡員)から手渡された。そこには、自分を「ヤミ屋のオヤジ」だと思って何でも言いつけてほしい、と書かれていた。すでに「国土交通省の所管事項以外のことでも援助します」と伝えてはいたものの、遠慮される市町村

長が多かったため、本気度を伝えようと踏み込んだ、役所の文章には珍しい表現をとった。それから、多くの市町村長から連絡をいただけるようになり、異例の物資調達が始まった。仮設ハウス、仮設トイレ、燃料などのほか、生理用品から棺まで、あらゆる物資を用意した。

手渡した手紙



市町村支援物資の例

3月31日現在

品目	総数量	要望件数	調達済件数
仮設ハウス	300棟	12	8
カーペット	1,951㎡	2	0
断熱材	6,990㎡	2	0
仮設トイレ	1,039基	11	11
テント	576張	7	4
埋葬箱	100本	1	1
収納袋	883袋	2	2
ガソリン	11,000L	4	4
軽油	36,740L	17	17
灯油	56,400L	8	8
発動発電機	95基	9	9
通信設備	1台	1	1
衛星電話設置	1式	1	1
バックホウ	6台	2	2
水・茶	31,900本	8	8
日用品・食料品等	1式	22	22
生理用品	300個	1	1
おむつ(子供用、大人用)	500個	1	1
ふとん	300組	1	1
洗濯機	30台	2	2
...			
合計		218	198

3/13以降の要望への対応

3月31日現在

- 対応済率91% (=198/218)
- 平均対応日数2.93日

国土交通省 東北地方整備局資料

